

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こころとことばの教室こっこ 浦安駅前校		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 3日 ～ 2024年 12月 21日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	45	(回答者数) 38
○従業者評価実施期間	2024年 12月 2日 ～ 2024年 12月 12日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 10月 6日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどものことを理解し、こどもの特性等に応じた支援ができるように工夫をしている。	こどもが何に興味を持っているかを汲み取り、好きなものを取り入れた教材作りをし、興味の幅を広げる努力をしている。	日々、療育後にフィードバックを行うことで、次の療育に生かすように心がけたり、スタッフ同士の情報交換も常に行っていく。
2	生活空間はこどもにわかりやすい構造化された環境作りに努めている。		
3	家族からの相談や申し入れに、迅速に対応できるよう、体制を整備している。		

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等が参加できる研修会実施の難しさがある。	法人の運営形態上、家族支援プログラムを単独で実施するための人的、予算的なリソースの確保が難しい、現在の療育事業の枠組みの中で保護者のニーズに応える視点がもとめられる。	・療育場面でこどもの行動に対するスタッフの対応を保護者に見てもらい、その子の特性やそれにあった対応について説明をする、家庭での関わりに参考になるような的確な助言を心がける。 ・スタッフチームで家族支援についての知見や福祉サービス等を学びあい、必要な保護者に確実に届ける体制を保つ。
2			
3			